

VI.安全施策

1 安全施策 2011 ・安全重点施策の実施結果 [平成23(2011)年度]

安全施策 2011 で定めた安全重点施策は、下記の通りであり、それぞれ確実に取り組みました。

1-1 安全管理規程に基づく安全管理体制の推進

- ・ 「安全方針」の確認（新安全方針の周知徹底と安全意識の定着）
- ・ 新安全管理体制（安全に特化した会議体「鉄道安全会議、鉄道安全連絡会」の整備）の周知
- ・ PDCAサイクルの内容・手法の周知の継続
- ・ 各職場における社員各々の役割と責任に応じた必要知識・技術の習得、維持及び向上の継続

1-2 安全確保を第一とする企業風土の醸成とコンプライアンスの徹底

- ・ 各種運動及び点検の定期的な実施による社員への安全意識の浸透
- ・ 経営トップ（社長）、安全統括管理者（都市交通事業本部長）及び各管理者（各部長）の巡視、講話、念達等の実施による安全意識の更なる向上（併せて各責務の検証を実施）並びにコンプライアンスの徹底



三宮駅改良工事視察（社長）



非常呼集訓練時訓辞（都市交通事業本部長）



運転士養成教育の視察（社長）



鳴尾連立工事視察（都市交通事業本部長）

上記写真のような経営トップ、安全統括管理者及び各管理者による巡視・講話を随時実施したほか、1-1、1-2の施策に対しては、年5回ある次の運動期間中を中心に、年間教育訓練計画を策定し、各教育を確実に実施しました。

- | | |
|----------------------|--------|
| ・ 春の全国交通安全運動 | 5月 |
| ・ 運転保安に関する特別総点検 | 6月 |
| ・ 鉄道・軌道及び索道の安全運転推進運動 | 7月 |
| ・ 秋の全国交通安全運動 | 9月 |
| ・ 年末年始の輸送等に関する安全総点検 | 12月～1月 |

1-3 神戸高速線における安全輸送の維持向上

- ・ 種々の教育訓練（車両異常時対応等に関する事項、地下駅防災等に関する事項、駅諸施設の適切な運用に関する事項）の継続的な実施により安全輸送の維持向上を図りました。
- ・ 実務を通して改善点、問題点の洗い出しを行い、必要に応じて規程類や教育訓練方法等の見直しを行いました。

1-4 事故の芽・ヒヤリハットに関する取組みの確実な運用の継続

- ・ 事故の芽・ヒヤリハット等のリスク情報を確実に報告するよう心掛けました。
- ・ 報告された事故の芽・ヒヤリハット事象の原因と対応策を検討し、それらを現場へフィードバックさせるシステムを継続して運用しました。
- ・ このシステムが確実に機能するよう、日常から社員同士の積極的なコミュニケーションを心掛けました。
- ・ このシステムにおける「分析」から「フィードバック」に至る各段階（鉄道安全会議、鉄道安全連絡会、（各部）安全会議など）で情報の有効な活用方法を継続して検討し、実践しました。
- ・ 各部・各職場が取り組みやすくなる手法を絶えず検討し、積極的に提案・改善しました。
- ・ 事故防止対策の有効性の把握に継続して取り組みました。
- ・ 「事故、インシデント、事故の芽・ヒヤリハット」に対して実施した対策については、各部及び鉄道安全連絡会で、その有効性を検証し、必要に応じて鉄道安全会議へ報告するなど、有効性把握への取組みを継続しました。
- ・ 事故の芽・ヒヤリハットに対して職責に応じた教育訓練を実施しました。
 - (1) マネジメント全般に携わる者
取組みの推進、分析等に関する事項
 - (2) 施策の管理に携わる者
取組みの目的、基礎の熟知と教示、分析等に関する事項
 - (3) 施策の実務に携わる者
気付き力と研鑽する意識の向上等に関する事項
- ・ 所定の教育訓練、外部研修等の受講、その他各種文献による知識、技能習得等により、それぞれの立場における観点で、各自が習得を心掛けました。

1-5 ヒューマンエラー事象の分析の深度化及び注意喚起の継続的発信

- ・ ヒューマンエラー事象の背後要因を含めた原因分析に関する取組み手法について種々探求し、実践及び活用しました。
- ・ 得られた分析結果については、各部及び鉄道安全連絡会で、その有効性を検証し、必要に応じて鉄道安全会議へ報告するなど、有効性把握と情報共有に努めました。
- ・ 発生頻度の実態等を踏まえ、定期的かつ継続的にヒューマンエラー防止の注意喚起を実施し、再発防止に努めました。

2. 内部監査の実施

- ・ 「鉄道輸送の安全確保に関する内部監査実施要領」に基づき、都市交通事業本部の各部は監査計画等を策定し、確実に実施しました。
- ・ 有効性に着目した内部監査の実施及び内部監査自体の有効性を検証しました。
 - 有効性に着目した内部監査を実施しました。
 - 内部監査自体の有効性を検証する場（会議）を関係者間で設定し、その結果を反映した内部監査計画の立案に努めました。
- ・ 内部監査の客観性をより高めるため、部間でのクロスチェック体制の拡大を図りました。
- ・ 内部監査員の力量の維持・向上及び確認に向けた取組みを実施しました。
 - 内部監査員の力量の維持・向上の観点から、外部研修の継続、他監査への立会を継続しました。
 - 内部監査員の力量の確認の観点から、受講した外部研修後や他監査への立会後にアンケート等を実施し、確認しました。また、その結果を研修計画等に反映させました。

・内部監査における指摘事項・提言事項及び内部監査部（会社組織）による提言事項に対して確実に対処しました。

→ 監査方法に関する好事例の水平展開により、内部監査の客観性・有効性の向上を図りました。

【内部監査の有効性向上の事例】

○内部監査実施後に、「内部監査の有効性確認チェック」シートによる監査員の自己評価を行い、部門間のクロスチェックや他の監査への立会等について有効性を検証するため、会議の場で監査員同士の意見交換を行いました。

○内部監査の客観性を高めるため、電気部・工務部で先行導入していた部門のクロスチェックを都市交通事業本部全体に拡大しました。

〔2010年度内部監査〕電気部⇔工務部 のクロスチェック

⇒〔2011年度内部監査〕電気部⇔工務部 及び 運輸部⇔車両部 のクロスチェック

【内部監査部提言事項への対処】

○電気部・工務部で実施されていた、内部監査時に書類審査によって社長、安全統括管理者及び部長の責務を検証する方法を全ての部門で取り入れ、内部監査の客観性・有効性の向上を図りました。

3. 安全意識アンケートの実施

社員の安全への意識や各取り組み等の周知度を改めて確認するため、一昨年に引き続き、平成 23（2011）年 12 月、都市交通事業本部の社員全員（約 1100 名）を対象として、安全意識アンケート調査を実施しました。結果、前回に比べて着実に安全意識が浸透していることがわかりました。今後もこのアンケートを継続して実施し、結果を安全施策に反映させていきます。

今回のアンケートの結果、前回（平成 22（2010）年 12 月実施）のアンケート結果と同様、安全方針に対する取り組み、事故の芽・ヒヤリハット情報の重要性の理解、安全に対する知識保有や意識向上等に対する意識が高いレベルで維持されていること、及び前回に比べて安全管理規程・安全施策・安全報告書の認識度・周知度が向上していることがわかりました。

安全意識アンケート調査 [2011 年度]

社団法人都市交通事業本部

鉄道輸送の安全に資する施策の一環として、社員の安全意識を調査させていただきます。今後の安全への取組方針の参考とさせていただきます。ご了承ください。

ご協力いただき、ありがとうございます。

■最初にご自身の所属部署等について、該当する項目の口をチェックしてください。

1. 所属部	<input type="checkbox"/> 運輸部	<input type="checkbox"/> 電気部	<input type="checkbox"/> 車両部	<input type="checkbox"/> 工務部
2. 職 種	運転士 <input type="checkbox"/>	列車士 <input type="checkbox"/>	駅 員 <input type="checkbox"/>	女性 <input type="checkbox"/>
	技術系 <input type="checkbox"/>	現場系 <input type="checkbox"/>	営業系 <input type="checkbox"/>	その他 <input type="checkbox"/>
3. 職 階	役員 <input type="checkbox"/>	指導員 <input type="checkbox"/>	高層職 <input type="checkbox"/>	
4. 勤続年数	5 年以下 <input type="checkbox"/>	5 年以上 10 年以下 <input type="checkbox"/>	10 年以上 15 年以下 <input type="checkbox"/>	15 年以上 20 年以下 <input type="checkbox"/>
			20 年以上 30 年以下 <input type="checkbox"/>	30 年以上 <input type="checkbox"/>

■各設問に対して、自分自身の「行動」を「考え」たいとして、該当する項目の口をチェックしてください。

Q1. あなたは、会社が安全管理体制を敷き、安全管理規程（安全方針）の制定、安全施策 2011 に基づく取組（鉄道訓練など）、安全報告書 2011 の公表などを実施していることを知っていますか。

【○】 安全管理規程（安全管理体制・安全方針）について	<input type="checkbox"/>
【△】	<input type="checkbox"/>
【×】	<input type="checkbox"/>

